

		事務事業No.		12-	1
事業名	労働諸費	会計	款	項	目
		一般	5	1	1
政策	4 持続可能な町の経営ができるために	課名	産業課		
施策	4-2 行政機能の確保・管理	係名	産業振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	住民に身近で便利な共同福祉施設の運営をすることにより、住民福祉の向上を図ります。
事業内容	東員共同福祉施設管理事務・・・ 施設の効率的な運営を実現するため、指定管理者制度を活用する。 東員共同福祉施設施設整備事務・・・ 中長期整備計画に基づいた計画的改修により施設の長寿命化を図る。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1						
2							
3							
4							
5							
			令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(予算)
全体事業費(千円)			5,113		24,314		3,285
財源内訳	うち一般財源		4,496		17,840		3,285

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	・中長期整備計画に基づき、改修工事を実施するため、商工会と工程会議などを行い、円滑に工事を推進する。	③取組の課題	・施設の有効利用の促進、商工会との複合施設の改修調整を図り、中長期計画に基づく改修工事を事故なく円滑に実施する。
②R6年度に実施した取り組み	・施設の使用料改定を行った。 ・施設の中長期計画に基づく長寿命化のための改修工事を行った。	④今後の改善計画	・施設の使用料については、他の公共施設の動向も踏まえ、再度の料金改定見直しも視野に入れていく。 ・今後は施設の維持管理に努めていく。

実施計画書

事務事業No.	12-1												
事業名	労働諸費												
事業実施計画（議会説明等も含め手順・工程を記載）													
R7	事業費(千円)	3,285	内訳	国補助	0	県補助	0	地方債	0	その他	0	一般財源	3,285
<ul style="list-style-type: none"> ・ 東員共同福祉施設管理事務 <ul style="list-style-type: none"> 施設修繕料 【 150千円】 火災保険料 【 31千円】 共同福祉施設指定管理料 【3,104千円】 													
R8	事業費(千円)	3,285	内訳	国補助	0	県補助	0	地方債	0	その他	0	一般財源	3,285
<ul style="list-style-type: none"> ・ 東員共同福祉施設管理事務 <ul style="list-style-type: none"> 施設修繕料 【 150千円】 火災保険料 【 31千円】 共同福祉施設指定管理料 【3,104千円】 													
R9	事業費(千円)	3,486	内訳	国補助	0	県補助	0	地方債	0	その他	0	一般財源	3,486
<ul style="list-style-type: none"> ・ 報償費 <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者選定委員会委員謝礼 【 201千円】 ・ 東員共同福祉施設管理事務 <ul style="list-style-type: none"> 施設修繕料 【 150千円】 火災保険料 【 31千円】 共同福祉施設指定管理料 【3,104千円】 													
R10	事業費(千円)	3,285	内訳	国補助	0	県補助	0	地方債	0	その他	0	一般財源	3,285
<ul style="list-style-type: none"> ・ 東員共同福祉施設管理事務 <ul style="list-style-type: none"> 施設修繕料 【 150千円】 火災保険料 【 31千円】 共同福祉施設指定管理料 【3,104千円】 													

事務事業No.	12-	2
事業名	農業委員会経費	
会計	款	項
一般	6	1
課名	産業課	
係名	産業振興係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	農地所有者、担い手農家	目的 (対象がどのような状態になっているか)	意欲ある農業経営体への農地集積、新規就農者及び担い手の確保・育成を図り、経営規模の拡大と耕作放棄地の解消に努めます。
事業内容	農業委員会が取り組む最も重要な業務として位置付けられている「農地等の利用の最適化の推進」業務を農業委員及び農地利用最適化推進委員と連携して取り組みます。 ○農業委員：毎月1回定例会を開催し、農地法に基づく農地転用や売買、貸し借りなどの許認可等の法令業務及び現地確認調査を行います。 ○推進委員：担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、担い手の育成、新規参入の促進など現場活動を行います。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1	人・農地プラン作成数	2	2	2	件	↑
2							
3							
4							
5							
		令和5年度(決算)		令和6年度(決算)	令和7年度(予算)		
全体事業費(千円)				3,620	3,514	4,039	
財源内訳	うち一般財源			3,256	3,024	3,547	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 目標地図、地域計画の策定を進める。 目標地図、地域計画の達成に向けて各地域における農地に関わる課題に対し、解決に向けた協議が必要 タブレットの利用促進のため、まずは活動報告をタブレットを使用した提出に切り替える。 	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> 目標地図、地域計画の実現に向けての課題を整理する必要がある。 タブレット利用について、使いこなすにはまだまだ時間がかかる。
②R6年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 目標地図、地域計画を策定した。 活動報告、農地パトロール業務にタブレット利用を開始した。 農業委員会での審議方法を議案ごとに審査ポイントを説明する形式に変更した。 	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 目標地図、地域計画の実現に向けての課題を整理する。また、必要に応じ計画を変更する。 タブレット利用促進について、事務局のサポートなしで使えることを目標とする。

実施計画書

事務事業No.	12-2												
事業名	農業委員会経費												
事業実施計画（議会説明等も含め手順・工程を記載）													
R7	事業費(千円)	4,039	内訳	国補助	0	県補助	413	地方債	0	その他	79	一般財源	3,547
<ul style="list-style-type: none"> ・報酬【1,998千円】・・・委員報酬(会長・農業委員・推進委員) ・旅費【 23千円】・・・費用弁償、普通旅費 ・需用費【 304千円】・・・消耗品費、印刷製本費、機器等修繕料 ・役務費【 347千円】・・・通信運搬費(農業委員会開催通知他)、タブレット通信料 ・使用料及び賃借料 【1,064千円】・・・バス借上料(農業委員会定例会時現地確認用バス)、 農地情報システム使用料 モバイルデバイス使用料(タブレット) ・負担金補助及び交付金 【 303千円】・・・三重県農業会議負担金、北勢農業委員会負担金 													
R8	事業費(千円)	4,039	内訳	国補助	0	県補助	413	地方債	0	その他	79	一般財源	3,547
<ul style="list-style-type: none"> ・報酬【1,998千円】・・・委員報酬(会長・農業委員・推進委員) ・旅費【 23千円】・・・費用弁償、普通旅費 ・需用費【 304千円】・・・消耗品費、印刷製本費、機器等修繕料 ・役務費【 347千円】・・・通信運搬費(農業委員会開催通知他)、タブレット通信料 ・使用料及び賃借料 【1,064千円】・・・バス借上料(農業委員会定例会時現地確認用バス)、 農地情報システム使用料 モバイルデバイス使用料(タブレット) ・負担金補助及び交付金 【 303千円】・・・三重県農業会議負担金、北勢農業委員会負担金 													
R9	事業費(千円)	4,039	内訳	国補助	0	県補助	413	地方債	0	その他	79	一般財源	3,547
<ul style="list-style-type: none"> ・報酬【1,998千円】・・・委員報酬(会長・農業委員・推進委員) ・旅費【 23千円】・・・費用弁償、普通旅費 ・需用費【 304千円】・・・消耗品費、印刷製本費、機器等修繕料 ・役務費【 347千円】・・・通信運搬費(農業委員会開催通知他)、タブレット通信料 ・使用料及び賃借料 【1,064千円】・・・バス借上料(農業委員会定例会時現地確認用バス)、 農地情報システム使用料 モバイルデバイス使用料(タブレット) ・負担金補助及び交付金 【 303千円】・・・三重県農業会議負担金、北勢農業委員会負担金 													
R10	事業費(千円)	4,039	内訳	国補助	0	県補助	413	地方債	0	その他	79	一般財源	3,547
<ul style="list-style-type: none"> ・報酬【1,998千円】・・・委員報酬(会長・農業委員・推進委員) ・旅費【 23千円】・・・費用弁償、普通旅費 ・需用費【 304千円】・・・消耗品費、印刷製本費、機器等修繕料 ・役務費【 347千円】・・・通信運搬費(農業委員会開催通知他)、タブレット通信料 ・使用料及び賃借料 【1,064千円】・・・バス借上料(農業委員会定例会時現地確認用バス)、 農地情報システム使用料 モバイルデバイス使用料(タブレット) ・負担金補助及び交付金 【 303千円】・・・三重県農業会議負担金、北勢農業委員会負担金 													

事務事業No.	12-	3
事業名	農業振興対策事業	
会計	款	項
一般	6	1
課名	産業課	
係名	産業振興係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	目的 (対象がどのような状態になっているか)	時代のニーズに即した安全・安心な食料供給を図り、農業の持つ多面的機能の保全・活用を進め、多様な農業振興施策を総合的・計画的に推進し、持続可能な農業に取り組みます。
事業内容	農業者、農業団体	<p>景観形成作物栽培事業・・・町のイメージアップ及び地域活性化を図るため転作農地を有効活用し、コスモスの作付けをします。</p> <p>認定農業者特別制度資金利子補給金 ・・・・農業経営の効率化及び安定化を図るため、農業者等が借り入れた制度資金の利子補給金を交付します。</p> <p>経営所得安定対策事業・・・米や麦、大豆等の畑作物も含めた生産数量目標の検討や対象作物の生産振興策等について協議しています。※東員町地域農業再生協議会運営費</p> <p>水田麦・大豆産地生産性向上事業 ・・・・水田における麦・大豆の生産拡大を推進するにあたり、効率的な作業を可能とするため、機械の導入支援を行います。</p> <p>多面的機能支払事業・・・地域の大切な資源である農地、農業用水路等の生産基盤を守り、農業の質の向上、農村環境の向上の取り組みを実施します。</p> <p>有害鳥獣捕獲許可事務・・・有害鳥獣捕獲許可申請及び捕獲許可決定の手続きをします。</p>	

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1	認定農業者数(個人、法人)	32	32	32	件	→
2							
3							
4							
5							
		令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(予算)	
全体事業費(千円)				69,101	44,270	72,131	
財源内訳	うち一般財源			18,606	15,314	13,957	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき			効率性
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 生産性向上に向けた取組に対し交付金を支払う産地交付金、土づくりや基本技術の徹底を実行している農業者の事例紹介など、収量向上に向けた取り組みを実施する。 多面的機能が維持・発揮できるよう2つの活動組織に対し継続した支援・指導を行う。 	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> 転作作物の作付けは定着してきているが、その一方で収量が低迷している農業者や作物(特に大豆)に対し、改善に向けたアプローチを検討、検証、実行していく必要がある。 2つの多面的活動団体構成員の高齢化が進んでおり、団体の継続が課題である。また、農地所有者を含む地域との関わりが希薄になってきており、地域との関わりを深めていく必要がある。
②R6年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 転作作物(麦・大豆)の作付けや生産性向上に取り組む農業者に対する交付金関係業務を実施した。 イメージアップ、地域活性化を図るため転作農地を有効活用しコスモスの作付けを実施した。 適正な農地・農業用水路等の保全を行うため、2つの活動組織に対し農業が有する多面的機能が維持・発揮できるよう指導。 	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 土づくりや基本技術を徹底している農業の事例紹介など、収量向上に向けた取り組みを実施する。 2つの多面的活動団体の維持のための支援。地域との関わりを深めるための支援。

実施計画書

事務事業No.	12-3												
事業名	農業振興対策事業												
事業実施計画（議会説明等も含め手順・工程を記載）													
R7	事業費(千円)	72,131	内訳	国補助	0	県補助	58,174	地方債	0	その他	0	一般財源	13,957
<ul style="list-style-type: none"> ・需用費【 194千円】・・・消耗品費、諸用紙印刷代 ・役務費【 129千円】・・・通信運搬費、手数料(有害鳥獣駆除)、火災保険料 ・委託料【 2,156千円】・・・景観形成作物栽培作業委託、農業振興地域整備計画データ作成委託 ・使用料及び賃借料 【 300千円】・・・用地借上料（コスモス作付用地） ・負担金補助及び交付金 【69,352千円】・・・農業振興協議会負担金、認定農業者特別制度資金利子補給金、経営所得安定対策事業推進補助金、多面的機能支払事業交付金産地生産基盤パワーアップ事業補助金、 													
R8	事業費(千円)	48,716	内訳	国補助	0	県補助	34,074	地方債	0	その他	0	一般財源	14,642
<ul style="list-style-type: none"> ・需用費【 194千円】・・・消耗品費、諸用紙印刷代 ・役務費【 129千円】・・・通信運搬費、手数料(有害鳥獣駆除)、火災保険料 ・委託料【 2,156千円】・・・景観形成作物栽培作業委託、農業振興地域整備計画データ作成委託 ・使用料及び賃借料 【 300千円】・・・用地借上料（コスモス作付用地） ・負担金補助及び交付金 【45,252千円】・・・農業振興協議会負担金、認定農業者特別制度資金利子補給金、経営所得安定対策事業推進補助金、多面的機能支払事業交付金 <p>新産業創造推進事業 <<685千円>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費【185千円】・・・実証圃場栽培謝礼 ・旅費【162千円】・・・普通旅費 ・需用費【248千円】・・・消耗品費、実証圃場用種子購入、印刷製本費 ・原材料費【90千円】・・・食育講座用材料、各イベント用材料 													
R9	事業費(千円)	48,716	内訳	国補助	0	県補助	34,074	地方債	0	その他	0	一般財源	14,642
<ul style="list-style-type: none"> ・需用費【 194千円】・・・消耗品費、諸用紙印刷代 ・役務費【 129千円】・・・通信運搬費、手数料(有害鳥獣駆除)、火災保険料 ・委託料【 2,156千円】・・・景観形成作物栽培作業委託、農業振興地域整備計画データ作成委託 ・使用料及び賃借料 【 300千円】・・・用地借上料（コスモス作付用地） ・負担金補助及び交付金 【45,252千円】・・・農業振興協議会負担金、認定農業者特別制度資金利子補給金、経営所得安定対策事業推進補助金、多面的機能支払事業交付金 <p>新産業創造推進事業 <<685千円>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費【185千円】・・・実証圃場栽培謝礼 ・旅費【162千円】・・・普通旅費 ・需用費【248千円】・・・消耗品費、実証圃場用種子購入、印刷製本費 ・原材料費【90千円】・・・食育講座用材料、各イベント用材料 													
R10	事業費(千円)	48,716	内訳	国補助	0	県補助	34,074	地方債	0	その他	0	一般財源	14,642
<ul style="list-style-type: none"> ・需用費【 194千円】・・・消耗品費、諸用紙印刷代 ・役務費【 129千円】・・・通信運搬費、手数料(有害鳥獣駆除)、火災保険料 ・委託料【 2,156千円】・・・景観形成作物栽培作業委託、農業振興地域整備計画データ作成委託 ・使用料及び賃借料 【 300千円】・・・用地借上料（コスモス作付用地） ・負担金補助及び交付金 【45,252千円】・・・農業振興協議会負担金、認定農業者特別制度資金利子補給金、経営所得安定対策事業推進補助金、多面的機能支払事業交付金 <p>新産業創造推進事業 <<685千円>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費【185千円】・・・実証圃場栽培謝礼 ・旅費【162千円】・・・普通旅費 ・需用費【248千円】・・・消耗品費、実証圃場用種子購入、印刷製本費 ・原材料費【90千円】・・・食育講座用材料、各イベント用材料 													

令和6年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	4
事業名	新産業創造推進事業	会計	款	項	目
		一般	6	1	3
政策	7 生活を支える担い手があり続けるために	課名	産業課		
施策	7-1 農業の振興	係名	新産業創造推進室		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	農業者、事業者、住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	「マメマチプロジェクト」の取り組みを通じて、大豆生産者の大豆の収量向上につながり、魅力ある持続可能な農業となることを目指す。
事業内容	栄養価の高い大豆「ななほまれ」の安定生産 主力品種の「フクユタカ」の収量向上に向けた取り組み 「ななほまれ」を使用した魅力ある商品の創出 東員町産の大豆を使用した商品のPR			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1	農産品またはそれを活用した特産品数	16	19	28	品	↑
2	大豆の町内生産量	88	96	96	t	↑	128
3							
4							
5							
			令和5年度(決算)	令和6年度(決算)			令和7年度(予算)
全体事業費(千円)				803		584	715
財源内訳	うち一般財源			803		584	715

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き面積拡大、生産者の増加を目指す 「種子用」としての栽培の実施 付加価値の高い大豆「ななほまれ」を使用した製品の開発 三重北農協と協議し、物流部分のコスト改善を図る 	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> 「ななほまれ」の種子生産を始めたが安定生産には時間がかかる。 大豆の収量がまだまだ低い。 大豆商品の魅力向上
②R6年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 「ななほまれ」の種子用としての栽培を実証実験した。 「油揚げ」を含む大豆製品の販路拡大をおこなった。(ピアゴ東員店、スーパーサンシなど) イオンモールなどと協力して取り組みのPRを実施した。 	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 「ななほまれ」の種子生産を継続的に取り組む 桑名普及センターと連携し大豆の収量向上に取り組む 魅力ある大豆商品の創出 「マメマチプロジェクト」のPR

実施計画書

事務事業No.	12-4												
事業名	新産業創造推進事業												
事業実施計画（議会説明等も含め手順・工程を記載）													
R7	事業費(千円)	827	内訳	国補助	0	県補助	0	地方債	0	その他	0	一般財源	827
<ul style="list-style-type: none"> ・ 報償費【176千円】・・・実証圃場栽培謝礼 ・ 旅 費【162千円】・・・FOODEX JAPAN、三重テラス視察 ・ 需用費【271千円】・・・消耗品費、実証圃場用種子購入、印刷製本費 ・ 役務費【 14千円】・・・臨時営業許可申請手数料(イベント7回分) ・ 使用料及び賃借料 【 20千円】・・・啓発拠点借上料(各イベント会場出展料) ・ 原材料費 【184千円】・・・各小中学校食育講座用材料、各イベント用材料 													
R8	事業費(千円)		内訳	国補助		県補助		地方債		その他		一般財源	
※令和8年度から、農業振興対策事業(12-3)へ事業統合													
R9	事業費(千円)		内訳	国補助		県補助		地方債		その他		一般財源	
※令和8年度から、農業振興対策事業(12-3)へ事業統合													
R10	事業費(千円)		内訳	国補助		県補助		地方債		その他		一般財源	
※令和8年度から、農業振興対策事業(12-3)へ事業統合													

令和6年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	5
事業名	土地改良事業	会計	款	項	目
		一般	6	1	4
政策	7 生活を支える担い手があり続けるために	課名	産業課		
施策	7-1 農業の振興	係名	土地改良係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	①農業生産基盤の充実	目的 (対象がどのような状態になっているか)	主に農業用水利施設の維持管理、更新等を適切に実施することにより、将来に渡り安定して農業の振興を図ります。
事業内容	農業用施設維持管理事務 施設を計画的に維持及び補修、更新することにより、将来に渡り必要とする改修等の費用の平準化を図ります。 農村地域防災・減災事業 防災重点農業用ため池の防災工事に向けた事業の推進を図ります。 土地改良区等燃料価格高騰対策支援事業 原油価格高騰の影響を受けている農業者の負担軽減を図るため、電気料金高騰分の一部に対して補助金を交付します。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1						
2							
3							
4							
5							
			令和5年度(決算)	令和6年度(決算)			令和7年度(予算)
全体事業費(千円)				17,416	25,302		40,555
財源内訳	うち一般財源			14,429	11,120		13,317

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	町負担分で財政的影響が少なくなるよう、事業メニューの適切な選択を多面的に協議検討する。	③取組の課題	農業用水利施設の維持管理及び更新時には多額な費用を要するため、町財政への影響が少なくなるよう適正な負担割合の平準化を図る必要がある。
②R6年度に実施した取り組み	・基幹農業水利施設ストックマネジメント事業に係る神田4期の改修工事、東員・中上1期及び東員・中上2期の実施設計を県により実施。また、県営ため池等整備事業に係る東員地区の実実施設計を県により実施。	④今後の改善計画	・防災重点農業用ため池の防災工事(万助溜)の事業採択申請に向けた実施計画策定業務を実施する。 ・基幹農業水利施設ストックマネジメント事業神田5期地区の事業採択申請に向けた実施計画策定業務を県、改良区と協議検討していく。

実施計画書

事務事業No.	12-5												
事業名	土地改良事業												
事業実施計画（議会説明等も含め手順・工程を記載）													
R7	事業費(千円)	40,555	内訳	国補助	0	県補助	10,500	地方債	15,100	その他	1,638	一般財源	13,317
<p>・農業用施設維持管理事務</p> <p>一般消耗品 [63千円]</p> <p>農業用施設修繕料 [2,000千円]</p> <p>農道・用排水路補修材料費 [46千円]</p> <p>調査設計委託料（万助溜耐震補強工事に係る実施計画策定） [10,500千円]</p> <p>農業施設維持作業委託料 [495千円]</p> <p>農道台帳修正業務委託 [588千円]</p> <p>負担金 [26,863千円]</p> <p>三重県土地改良事業団体連合会、三重用水土地改良区、員弁川用水第一・第二土地改良区、 神田土地改良区、ため池対策推進協議会、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業、 維持管理適正化事業、農村地域防災減災事業</p> <p>負担金の内訳</p> <p>土地改良事業団体連合会、各土地改良区、ため池対策推進協議会等負担金 <10,377千円></p> <p>県営ストマネ事業（東員・中上1期/工事） 13,000千円×10.2% <1,326千円></p> <p>県営ストマネ事業（東員・中上2期/工事） 30,000千円×15.2% <4,560千円></p> <p>県営ため池等整備事業（東員地区/工事） 106,000千円×10.0% <10,600千円></p>													
R8	事業費(千円)	54,564	内訳	国補助	0	県補助	3,500	地方債	38,599	その他	776	一般財源	11,689
<p>・農業用施設維持管理事務</p> <p>一般消耗品 [63千円]</p> <p>農業用施設修繕料 [2,000千円]</p> <p>農道・用排水路補修材料費 [46千円]</p> <p>調査設計委託料（万助溜耐震補強工事に係る実施計画策定） [3,500千円]</p> <p>負担金 [51,064千円]</p> <p>三重県土地改良事業団体連合会、三重用水土地改良区、員弁川用水第一・第二土地改良区、 神田土地改良区、ため池対策推進協議会、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業、 維持管理適正化事業、農村地域防災減災事業</p> <p>負担金の内訳</p> <p>土地改良事業団体連合会、各土地改良区、ため池対策推進協議会等負担金 <8,176千円></p> <p>県営ストマネ事業（東員・中上1期/工事） 55,000千円×10.2% <5,610千円></p> <p>県営ストマネ事業（東員・中上2期/工事） 45,000千円×15.2% <6,840千円></p> <p>県営ストマネ事業（神田5期/設計） 66,000千円×15.0% <9,900千円></p> <p>維持管理適正化事業47期生（第一土地改良区）（4年目額） 1,440千円×11.1% <159千円></p> <p>維持管理適正化事業49期生（第一土地改良区）（2年目額） 1,620千円×11.1% <179千円></p> <p>農村地域防災減災事業（山田溜/工事） 202,000千円×10% <20,200千円></p>													
R9	事業費(千円)	63,153	内訳	国補助	0	県補助	0	地方債	47,626	その他	54	一般財源	15,473
<p>・農業用施設維持管理事務</p> <p>一般消耗品 [63千円]</p> <p>農業用施設修繕料 [2,000千円]</p> <p>農道・用排水路補修材料費 [46千円]</p> <p>負担金 [61,044千円]</p> <p>三重県土地改良事業団体連合会、三重用水土地改良区、員弁川用水第一・第二土地改良区、 神田土地改良区、ため池対策推進協議会、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業、 維持管理適正化事業、農村地域防災減災事業</p> <p>負担金の内訳</p> <p>土地改良事業団体連合会、各土地改良区、ため池対策推進協議会等負担金 <8,126千円></p> <p>県営ストマネ事業（神田5期/工事） 141,475千円×15.0% <21,221千円></p> <p>維持管理適正化事業47期生（第一土地改良区）（5年目額） 1,064千円×11.1% <118千円></p> <p>維持管理適正化事業49期生（第一土地改良区）（3年目額） 1,620千円×11.1% <179千円></p> <p>農村地域防災減災事業（山田溜/工事） 284,000千円×10% <28,400千円></p> <p>農村地域防災減災事業（万助溜/工事） 30,000千円×10% <3,000千円></p>													
R10	事業費(千円)	65,624	内訳	国補助		県補助	0	地方債	49,351	その他	76	一般財源	16,197
<p>・農業用施設維持管理事務</p> <p>一般消耗品 [63千円]</p> <p>農業用施設修繕料 [2,000千円]</p> <p>農道・用排水路補修材料費 [46千円]</p> <p>負担金 [63,515千円]</p> <p>三重県土地改良事業団体連合会、三重用水土地改良区、員弁川用水第一・第二土地改良区、 神田土地改良区、ため池対策推進協議会、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業、 維持管理適正化事業、農村地域防災減災事業</p> <p>主な負担金の内訳</p> <p>土地改良事業団体連合会、各土地改良区、ため池対策推進協議会等負担金 <8,680千円></p> <p>県営ストマネ事業（神田5期/工事） 197,175千円×15% <29,576千円></p> <p>維持管理適正化事業49期生（第一土地改良区）（4年目額） 1,620千円×11.1% <179千円></p> <p>農村地域防災減災事業（山田溜/工事） 228,000千円×10% <22,800千円></p> <p>農村地域防災減災事業（万助溜/工事） 22,800千円×10% <2,280千円></p>													

事務事業No.	12-	6
---------	-----	---

事業名	国土調査事業	会計 一般	款 6	項 1	目 5
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	産業課		
施策	9-1 良好な居住環境の形成	係名	土地改良係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内に土地（主に住宅地）を有する者	目的（対象がどのような状態になっているか）	土地に関する実態を総合的に調査することで貴重な財産である土地の所有者・地番・地目・面積・境界を明確にすることを目的とします。
事業内容	地籍調査事業 ・一筆ごとの土地について、所有者、地番、地目及び境界の調査を行います。 ・一筆ごとの土地について、境界の測量及び土地の面積計算を行います。 ・地籍図及び地籍簿を作成し、三重県の認証後法務局にてその成果を基に登記されます。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1						
2							
3							
4							
5							
		令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（予算）	
全体事業費（千円）				1,651		927	791
財源内訳	うち一般財源			1,651		927	761

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	I 拡 充（事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	・地籍調査システムパソコンの更新を行う。 ・調査において、同意が得られなかった土地における再調査を行えるよう、地権者に理解を得るための協議を進めていく。	③取組の課題	・地図混乱区域において、調査完了はしたものの、地権者からの同意が得られず、未認証のままとなっている区域がある。 ・農用地の地籍調査の推進について検討する。
②R6年度に実施した取り組み	・地籍調査システムパソコンの更新を行った。	④今後の改善計画	・調査において、同意が得られなかった土地における再調査を行えるよう、地権者に理解を得るための協議を進めていく。 ・南大社地区の土地改良図面を活かした測量業務の推進。

実施計画書

事務事業No.	12-6												
事業名	国土調査事業												
事業実施計画（議会説明等も含め手順・工程を記載）													
R7	事業費(千円)	791	内訳	国補助	0	県補助	0	地方債	0	その他	0	一般財源	791
<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費【14千円】・・・東海ブロック研修(2回)、国土調査制度運用実務研修会、問題個所解消用務 ・委託料【752千円】・・・筆界未定地解消再測量委託、地籍調査システム保守委託料 ・負担金補助及び交付金【25千円】・・・国土調査事業協議会負担金 													
R8	事業費(千円)	1,891	内訳	国補助	0	県補助	0	地方債	0	その他	0	一般財源	1,891
<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費【14千円】・・・東海ブロック研修(2回)、国土調査制度運用実務研修会、問題個所解消用務 ・委託料【1,852千円】・・・筆界未定地解消再測量委託(400千円) 地籍調査システム保守委託料(352千円) 南大社地区土地改良図面現地確認調査業務委託(1,100千円) ・負担金補助及び交付金【25千円】・・・国土調査事業協議会負担金 													
R9	事業費(千円)	791	内訳	国補助	0	県補助	0	地方債	0	その他	0	一般財源	791
<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費【14千円】・・・東海ブロック研修(2回)、国土調査制度運用実務研修会、問題個所解消用務 ・委託料【752千円】・・・筆界未定地解消再測量委託、地籍調査システム保守委託料 ・負担金補助及び交付金【25千円】・・・国土調査事業協議会負担金 													
R10	事業費(千円)	791	内訳	国補助	0	県補助	0	地方債	0	その他	0	一般財源	791
<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費【14千円】・・・東海ブロック研修(2回)、国土調査制度運用実務研修会、問題個所解消用務 ・委託料【752千円】・・・筆界未定地解消再測量委託、地籍調査システム保守委託料 ・負担金補助及び交付金【25千円】・・・国土調査事業協議会負担金 													

令和6年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	7
事業名	林業経費	会計 一般	款 6	項 1	目 5
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	産業課		
施策	9-1 良好な居住環境の形成	係名	産業振興係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	暮らしに身近な森林を整備することにより、生活環境の保全や向上を図ります。
事業内容	危険木伐倒等業務 みえ森と緑の県民税交付金を活用し、これまで整備が進みにくく、荒廃が進んでいる緑地帯や森林地帯を対象とした整備を集中的に実施します。 また、人家裏や通学路沿いで倒木の恐れのある危険木の除去等も行います。 林業業務 森林にかかる許認可事務をはじめ、法定により整備することとなった林地台帳の整備と運用を行います。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1						
2							
3							
4							
5							
		令和5年度(決算)		令和6年度(決算)	令和7年度(予算)		
全体事業費(千円)				5,300	8,459	12,036	
財源内訳	うち一般財源			22	1,219	4,503	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	・町、県、中部電力と連携し、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した、ライフライン事前伐採事業を実施することにより、災害時の減災を目的とした事業を進めていく。	③取組の課題	・調査業務は3年間程度で終了できるが、伐倒業務に関しては本数が多く多年度に渡る可能性があるため、危険度の高い樹木から伐採を進めていく必要がある。
②R6年度に実施した取り組み	ライフライン事前伐採事業に係る危険木の調査業務を三和地区(南大社・長深)で実施した。	④今後の改善計画	ライフライン事前伐採事業に係る危険木の調査業務を三和地区(中上)及び神田地区(穴太、鳥取)で実施していく。

実施計画書

事務事業No.	12-7												
事業名	林業経費												
事業実施計画（議会説明等も含め手順・工程を記載）													
R7	事業費(千円)	12,036	内訳	国補助	0	県補助	4,500	地方債	0	その他	7,016	一般財源	520
<ul style="list-style-type: none"> ・委託料【8,000千円】・・・危険木伐倒等委託(2,000千円)(みえ森交付金事業) ライフライン事前伐採調査業務委託(3,000千円) ライフライン事前伐採事業伐倒委託(3,000千円) ・負担金補助及び交付金【20千円】・・・三重県緑化推進協会負担金、三重県森林協会負担金 ・基金積立【4,016千円】・・・森林環境譲与税【3,986千円】 森林環境譲与税利子【30千円】 													
R8	事業費(千円)	12,051	内訳	国補助	0	県補助	4,500	地方債	0	その他	7,031	一般財源	520
<ul style="list-style-type: none"> ・委託料【8,000千円】・・・危険木伐倒等委託(2,000千円)(みえ森交付金事業) ライフライン事前伐採調査業務委託(3,000千円) ライフライン事前伐採事業伐倒委託(3,000千円) ・負担金補助及び交付金【20千円】・・・三重県緑化推進協会負担金、三重県森林協会負担金 ・基金積立【4,031千円】・・・森林環境譲与税【3,986千円】 森林環境譲与税利子【45千円】 													
R9	事業費(千円)	9,051	内訳	国補助	0	県補助	3,000	地方債	0	その他	5,486	一般財源	565
<ul style="list-style-type: none"> ・委託料【5,000千円】・・・危険木伐倒等委託(2,000千円)(みえ森交付金事業) ライフライン事前伐採事業伐倒委託(3,000千円) ・負担金補助及び交付金【20千円】・・・三重県緑化推進協会負担金、三重県森林協会負担金 ・基金積立【4,031千円】・・・森林環境譲与税【3,986千円】 森林環境譲与税利子【45千円】 													
R10	事業費(千円)	9,051	内訳	国補助	0	県補助	3,000	地方債	0	その他	5,486	一般財源	565
<ul style="list-style-type: none"> ・委託料【5,000千円】・・・危険木伐倒等委託(2,000千円)(みえ森交付金事業) ライフライン事前伐採事業伐倒委託(3,000千円) ・負担金補助及び交付金【20千円】・・・三重県緑化推進協会負担金、三重県森林協会負担金 ・基金積立【4,031千円】・・・森林環境譲与税【3,986千円】 森林環境譲与税利子【45千円】 													

事務事業No.	12-	8
事業名	商工業振興事業費	
	会計 一般	款 7
政策	7 生活を支える担い手があり続けるために	項 1
施策	7-2 商工業の振興	目 1
	課名	産業課
	係名	産業振興係

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内小規模事業者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	商工会への助成を行うことで、魅力ある商工業の振興を図ります。
事業内容	商工業振興事業 経営改善や地域振興のための組織強化を行い、魅力ある商工業の振興を図るとともに、地域産業を主体とした、経営改善の指導ができるよう商工会への補助事業を通じて、小規模事業者への支援を行います。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
		1	商工会員数 (個人、法人)	509			519
2	制度融資件数	21	22	22	件	↑	30
3	商業環境についての満足度	-	-	-	%	↑	↗
4							
5							
		令和5年度 (決算)		令和6年度 (決算)		令和7年度 (予算)	
全体事業費 (千円)				13,916		14,042	14,242
財源内訳	うち一般財源			13,916		14,042	14,242

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	・補助金の効果を測る方策を検討し、より効果的なものとなるよう検討する。	③取組の課題	・商工会への補助金交付にあたり、実績報告等によっても、具体的な成果が見えにくい。
②R6年度に実施した取り組み	・商工会による小規模事業者への経営改善等にかかる補助金を交付した。	④今後の改善計画	・補助金の効果を測る方策を検討し、より効果的なものとなるよう検討する。

事務事業No.	12-	9
事業名	観光振興事業	
会計	一般	
款	7	
項	1	
目	1	
政策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	
課名	産業課	
施策	3-7 観光の振興	
係名	産業振興係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	観光振興会等	目的 (対象がどのような状態になっているか)	観光振興会等の自主活動組織の組織体制強化を図り、観光を通して東員町を広く情報発信します。
事業内容	観光振興事業・・・観光集客ができるイベントの企画の提案・運営、特産品の開発など行える組織づくりを行い、本町の観光戦略を図ります。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	特産品の登録数	16	19	28	品	↑
2	中部公園イベント数	1	2	2	件	↑	8
3							
4							
5							
		令和5年度 (決算)		令和6年度 (決算)		令和7年度 (予算)	
全体事業費 (千円)				340		330	333
財源内訳	うち一般財源			340		330	333

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					
					コストの削減	A削減の余地はない

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 観光地域づくりに関係する観光振興会などの活動組織の支援。 中部公園を中心としたTOINマルシェなどのイベントを充実させる。 広域観光団体と連携し、幅広く町のPRを行う。 	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> 観光地域づくりを担う活動組織が十分でない。 地域の人が魅力を感じる観光資源の発掘。 情報提供、情報発信が十分でない。
②R6年度に実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 観光振興会等主催の年2回のTOINマルシェ開催支援 特産品を10者認定 (新規7者、更新3者) 各種イベントで特産品のPR 	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 観光づくりに関係する観光振興会などの活動組織の支援。 中部公園を中心としたTOINマルシェなどのイベントの充実。 広域観光団体を活用し町のPRを実施する。

実施計画書

事務事業No.	12-9												
事業名	観光振興事業												
事業実施計画（議会説明等も含め手順・工程を記載）													
R7	事業費(千円)	333	内訳	国補助		県補助		地方債		その他		一般財源	333
<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費【14千円】・・・西美濃・北伊勢観光サミットキャラバン ・負担金補助及び交付金【319千円】・・・西美濃・北伊勢観光サミット負担金 三重県観光連盟負担金 北伊勢広域観光推進協議会負担金 													
R8	事業費(千円)	333	内訳	国補助		県補助		地方債		その他		一般財源	333
<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費【14千円】・・・西美濃・北伊勢観光サミットキャラバン ・負担金補助及び交付金【319千円】・・・西美濃・北伊勢観光サミット負担金 三重県観光連盟負担金 北伊勢広域観光推進協議会負担金 													
R9	事業費(千円)	333	内訳	国補助		県補助		地方債		その他		一般財源	333
<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費【14千円】・・・西美濃・北伊勢観光サミットキャラバン ・負担金補助及び交付金【319千円】・・・西美濃・北伊勢観光サミット負担金 三重県観光連盟負担金 北伊勢広域観光推進協議会負担金 													
R10	事業費(千円)	333	内訳	国補助		県補助		地方債		その他		一般財源	333
<ul style="list-style-type: none"> ・旅 費【14千円】・・・西美濃・北伊勢観光サミットキャラバン ・負担金補助及び交付金【319千円】・・・西美濃・北伊勢観光サミット負担金 三重県観光連盟負担金 北伊勢広域観光推進協議会負担金 													